

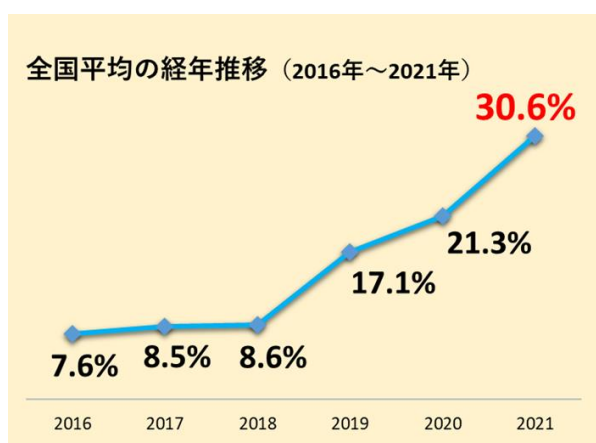
## 信号機のない横断歩道での歩行者横断時における一時停止状況全国調査 2021年(JAF)

### はじめに

これは2021年10月18日に(一社)日本自動車連盟(JAF)が発表した調査結果を、同連盟のH/P等から引用してその一部を紹介するものである。

調査は8月11日～30日のうち、月曜日から金曜日までの平日10時～16時、小雨を含む雨天時以外、各都道府県2箇所ずつ、全国合計94箇所信号機が設置されていない横断歩道を通過する車両8,281台を対象に行われた。その結果、一時停止した車は2,534台で30.6%であり、昨年比9.3%増で過去最高となったが、依然として約7割の車が止まらないという状況であった。

2016年の調査開始以来、ひと桁台の都道府県はなくなった。因みに全国平均は2016年7.6%、2017年8.5%、2018年8.6%、2019年17.1%、2020年21.3%であった。



### ■ 調査方法等

#### ● 横断歩行者はJAF職員

横断歩道の立ち位置や横断しようとするタイミングを統一した。調査回数は1箇所50回、2箇所なので、100回。

#### ● 調査場所

センターラインのある片側1車線道路で、原則として、調査場所の前後5m以内に十字路及びT字路交差点がない箇所、道路幅員が片側2.75m～3.5m、交通量が3～8台/分を目安とし、制限速度が40～60km/h程度の場所。

#### ● 調査対象車両

上記の横断歩道を通過する車両で横断歩行者側の車線を走行する自家用自動車、自家用トラック(白ナンバー)。

### ■ 調査結果

#### ● ベスト5

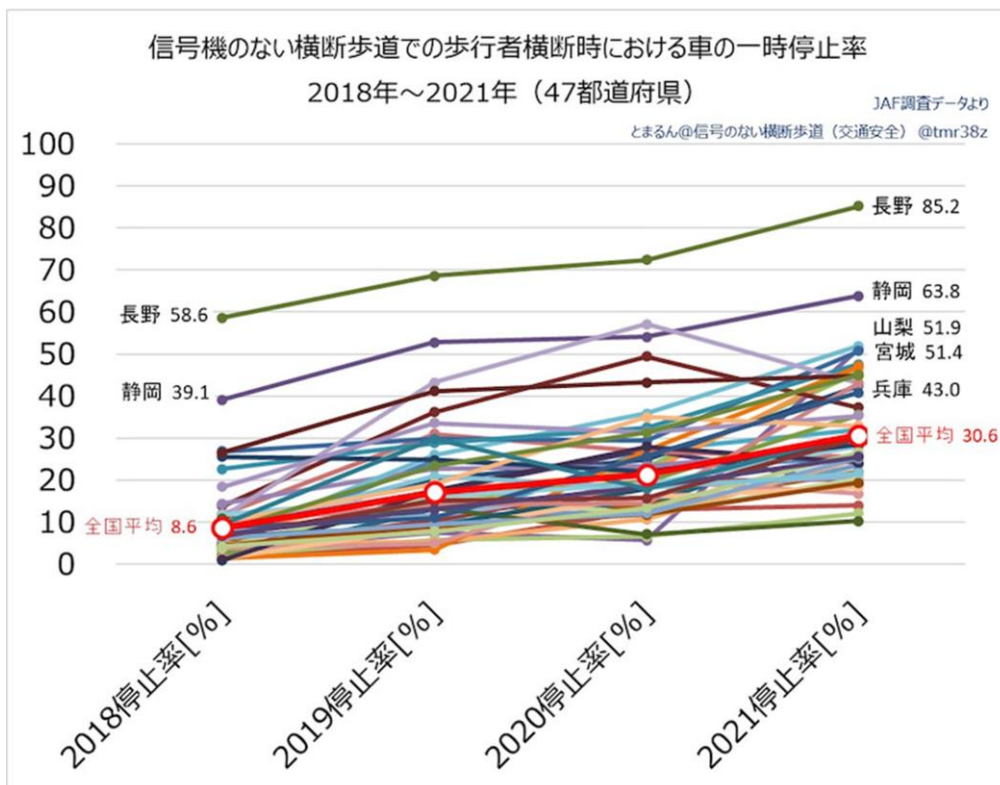
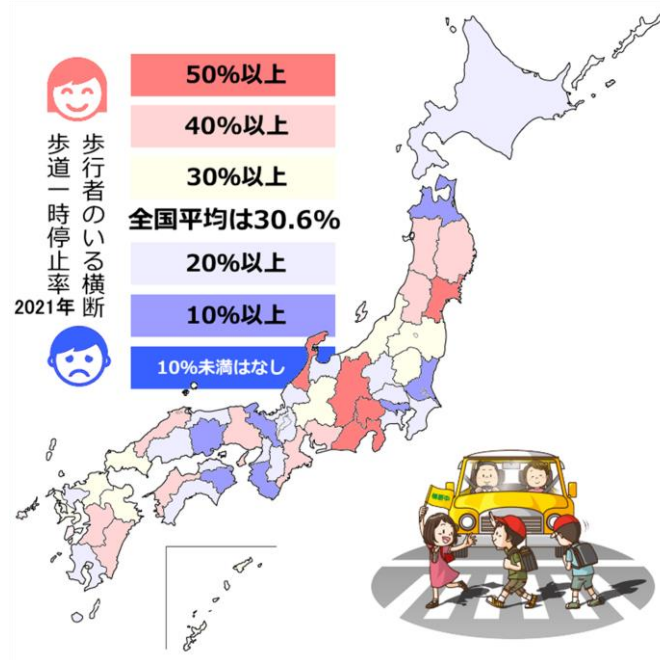
長野 85.20%、静岡 63.80%、山梨 51.90%、宮城 51.40%、石川 50.70%

#### ● ワースト5

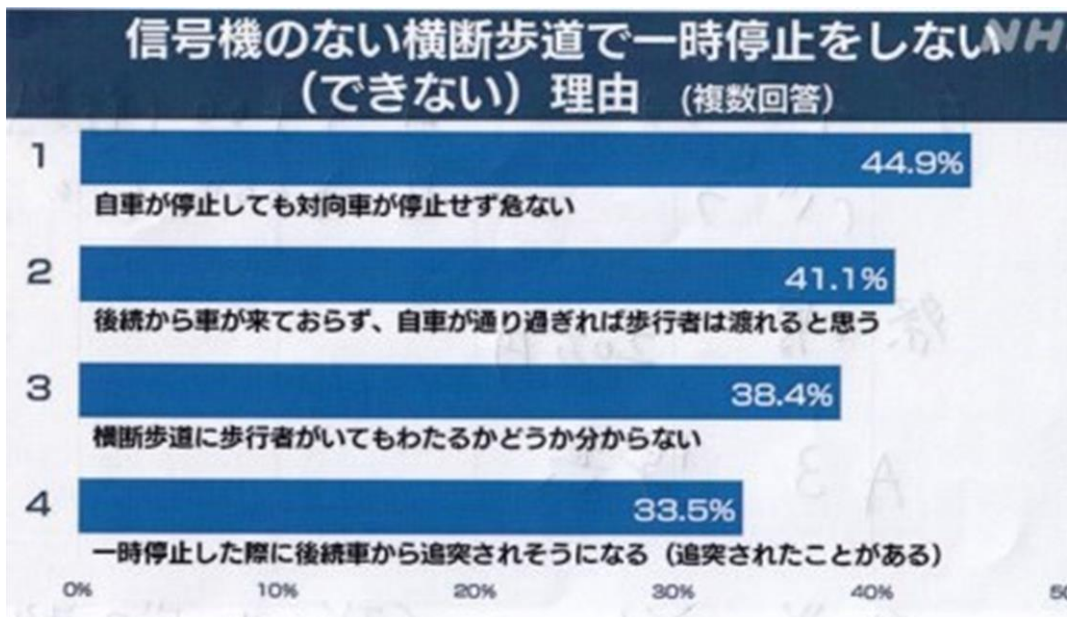
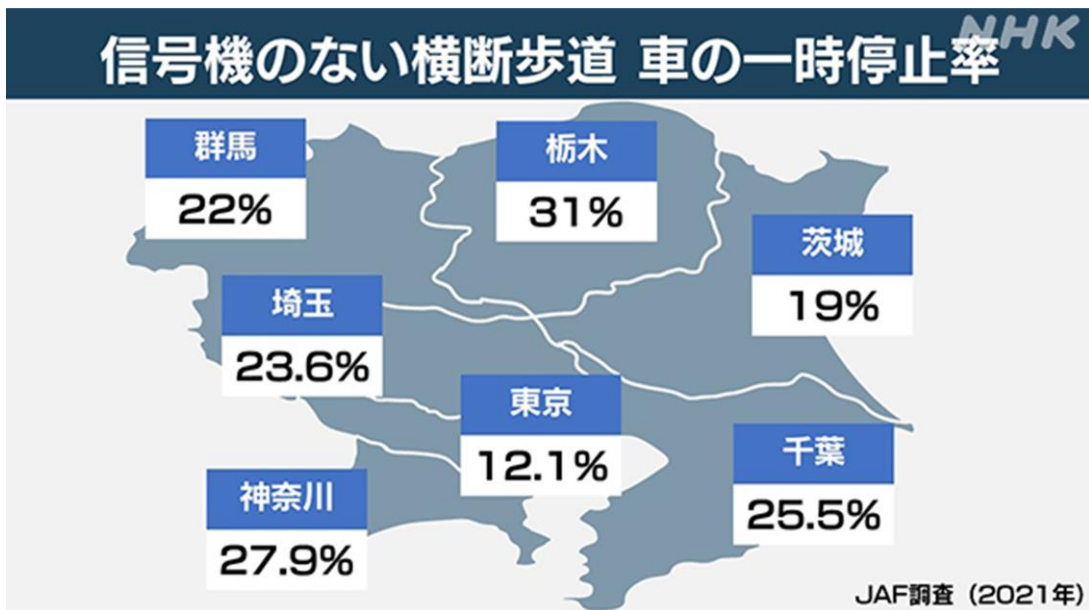
岡山 10.30%、東京 12.10%、青森 14.00%、京都 16.80%、和歌山 18.40%

● 調査結果の細部

長野県は2016年から6年連続で1位をキープし、一時停止率も2020年に比べて12.80%向上し、過去最高を更新している。一方、2020年ワースト1位だった宮城県ではベスト4位につけた。全体的に一時停止率が向上したことで、ワースト5も初めてひと桁台の都道府県がなくなった。ただ、前回ワースト3位(7.10%)だった岡山はワースト1位に、東京都は2年連続でワースト2位となっている。



関東の停止率は低調である。東京都は岡山県に次いで全国ワースト2位の12.1%であった。このほかの県では茨城県が19%、群馬県が22%、埼玉県が23.6%、千葉県が25.5%、神奈川県が27.9%と、栃木県を除いて全国平均の30.6%を下回った。



以上

